

海外短信



～ブラジル～

『ブラジル工場 起工式』

～ 住友ゴム工業㈱ ～



「起工式の様子」

1月27日、中南米地域における住友ゴムグループとして、初のタイヤ工場である Sumitomo Rubber do Brasil Ltda. の起工式を、同工場建設予定地(パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市)で実施しました。

ほぼ日本の真裏のブラジルに赴任した約10余名の駐在員(私)、及び出張応援者にとっては工場建設・販売基盤構築はこれからが本番という処です。

現在ブラジルを中心とした中南米地域では、自動車産業が急速に拡大しています。当社は2013年10月を予定しているブラジル工場の稼働により中南米地域におけるタイヤ需要増加に添えていく所存です。

尚、ブラジルでの生活は物価が意外と高い事が玉にキズですが、100年を超える日系移民の歴史のおかげか、日本人にとって、口にしやすくなじみある食べ物が多い印象です。

道路事情としては、運転は結構乱暴な感じで、バイクが車両をすり抜けていくのを冷や冷やしながら眺めています。背景となる景色は西欧調で、素晴らしい教会に圧倒される事もしばしばで、歴史を感じます。

全員で力を合わせ、この国にあったものづくりを実現していきたいと考えています。地球の裏側ですが、ぜひお越し下さい。

〈ブラジル工場の概要〉

会社名： Sumitomo Rubber do Brasil Ltda.
代表者名： 小田一平
所在地： パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市
設立： 2011年7月
生産開始： 2013年10月



「リオ・グランデ市の風景」



「教会」